

建物疎開作業で亡くなった動員学徒の碑めぐり

～平和大通いを関千枝子さんと歩いてみましょう～

広島原爆で12～13歳の少年少女が、6,000人以上も死んだことをご存知ですか？

1945年8月広島市は全市を挙げて強制建物疎開作業を行っていました。まだ人の住んでいるところでも、追い立てて家をこわし、道にするのです。その作業に広島中の中学、女学校1,2年生が8,000人以上も動員され6,000人が死にました。教育史上最大の災害と言われます。現在の平和大通りは子どもたちが一番大勢働いていたところで、子どもたちの慰霊の場所なのです。案内者・関千枝子のクラスは、広島市役所の裏で全滅しました。病気でその日欠席し、生き残った案内者が「友への思い」を込めて慰霊碑の由来や惨事を語ります。

<関千枝子さんプロフィール>

1932年大阪生まれ。早稲田大学露文科卒業。毎日新聞記者、その後、全国婦人新聞の編集長となる。著書に「広島第二県女二年西組——原爆で死んだ級友たち」(筑摩書房、第33回日本エッセイストクラブ賞受賞、日本ジャーナリスト会議奨励賞受賞)「図書館の誕生——ドキュメント日野市立図書館の、20年」(日本図書館協会)、「この国は恐ろしい国——もう一つの老後」(農山漁村文化協会)

日時:2015年8月5日(水) 受付開始 14:30

フィールドワーク 15:00～17:00

参加費:600円(資料代と保険) 定員:40人

集合場所:平和大橋 西詰南 広島市立高女原爆慰霊碑前
(広島YWCAの青いのぼり旗が目印です)

コース:市女の慰霊碑→被爆動員学徒死没慈母観音像→第一県女追憶の碑→演劇「さくら隊」の碑
→県立一中追憶の碑→山中高女・第二県女(雑魚場町建物疎開跡)→分かち合い(解散)

★分かち合いの会は自由参加です。

★炎天下を歩きますので、帽子、飲み物、敷物をご持参のうえ、歩きやすい靴でお越しください。

申込み:一般財団法人広島YWCA 申込み締め切り:7月31日(金)

(☎&FAX) 082-258-4878 (水・木・金の10:00～16:00)

当日の連絡先 090-8998-6368 (広島YWCA 平和活動部会 難波郁江)

メールアドレス: hiroshimaywca@nifty.com

主催:一般財団法人広島YWCA(広島市東区若草6-7広島主城教会気付)

